KSRS NEWS Letter

Vol.8
2024.10

教育支援事業

◎講演会の開催

【骨の健康を守る知識と実践法】

共催：旭化成ファーマ株式会社様 /神奈川県骨粗鬆症メディカルスタッフの会様

司会：済生会横浜市東部病院　福田健太郎 医師

講師：「たくさん貯めよう骨の貯金　—20歳までの食事や運動—」
済生会横浜市東部病院　林綾野 先生

「あなたの骨は大丈夫？年齢とともに起こる骨の変化」
済生会横浜市東部病院　山内俊之 先生

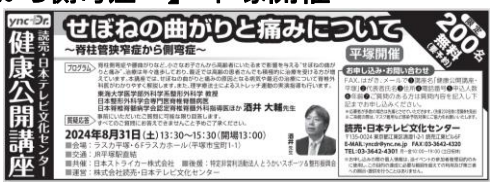
「年齢だけじゃない？　—骨粗しょう症を起こす病気のお話—」
かわさき整形外科・リウマチクリニック　武田勇樹 先生



【せぼねの曲がりと痛みについて ～脊柱管狭窄症から側弯症～】 平塚開催

共催：日本ストライカー株式会社様

講師：東海大学　酒井大輔 医師



【Spine Surgery & Medication Seminar】

共催：アムジェン株式会社様 /メドトロニックソファモアダネック株式会社様 / アステラス製薬株式会社様

＜Medication session＞
座長：東海大学 酒井大輔　医師
講師：秦野赤十字病院　松山大輔　医師
「骨粗鬆症性椎体骨折のトータルマネジメント」

＜Surgery session＞
座長：北里大学 井上玄　医師
講師：三楽病院　中尾祐介　医師
「成人脊柱変形のサルベージ手術—反省すべき症例や高難度症例を中心に—」



現在計画・進行中の臨床研究

● KSRS臨床研究を開始しています。

KSRSでは、大学病院の垣根を越えた、**神奈川県全体の施設・医師が集う組織であるメリット**を最大限生かし、以下の臨床研究を実施しています。

《計画中》

◎転移性脊椎腫瘍に対する手術症例の栄養状態に関する多施設研究

転移性脊椎腫瘍の予後予測のスコアは繰り返しの評価が困難である。
聖マリアンナ医科大学本院より、転移性脊椎腫瘍に対する手術症例において術後生存率と栄養状態が相関することが報告されている。

→KSRS先生方の所属している施設を対象に、術前の栄養状態と再手術を要した術後合併症に関する研究や、術後生存率と栄養状態の関係性について、多施設での調査を実施し、より詳細な検討を実施することを目的とする多施設研究。

今後も様々な多施設という特性を活かした有効的な臨床研究を実施して参ります。
ご意見、ご要望のある方は是非KSRS事務局までご連絡ください。

● 令和5年度事業報告

内閣府NPOホームページにて、
法人の情報と事業報告書類一式の内容をご覧いただくことが出来ます。
URL：https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/014004081

公式HP ： https://kanagawa-sekitsui.jp/
X（旧Twitter）： @kanagawa_spine
Facebook ： @kanagawaspine